

骨材試験成績書

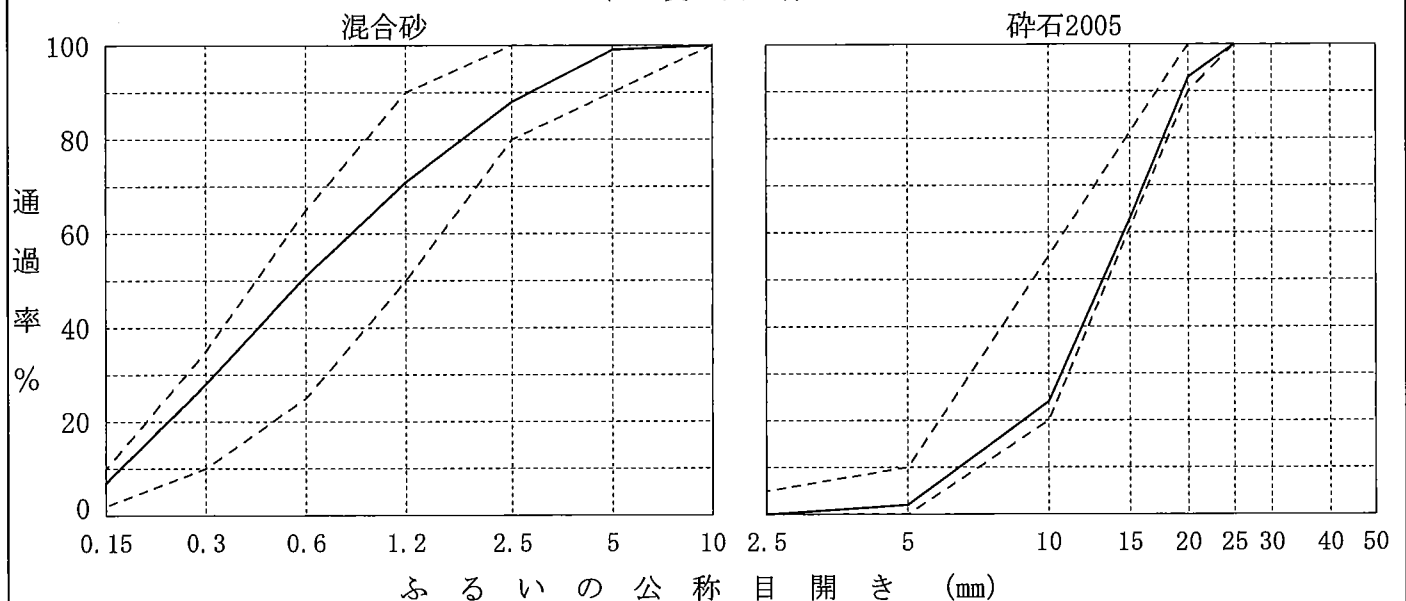
令和 7年 7月度

郡家コンクリート工業株式会社 京都工場

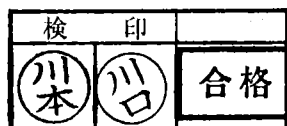


	産地品名	骨材名称				ふるい分け試験 (通過率%)				
骨材①	岡山県津山市加茂町知和	砕砂								
骨材②	鳥取市湖山地区	砂								
骨材③	京都府宮津市	ナスサンド								
骨材④	岡山県津山市加茂町知和	砕石2005								
試験項目		骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
最大寸法 (mm)		5	1.2	0.6	20	ふるい (mm)	混合砂	砕石2005		
表乾密度 (g/cm ³)		2.65	2.58	3.10	2.67	150				
絶乾密度 (g/cm ³)		2.59	2.54	3.08	2.63	100				
吸水率 (%)		2.03	1.57	0.39	1.53	80				
微粒分量 (%)		3.30	1.08	1.23	0.33	60				
粘土塊量 (%)			-			50				
実積率 (%)					59.4	40				
粒形判定実積率 (%)		58.8			59.1	30		100		
有機不純物 (標準色よりも)			淡い			25			93	
塩化物量 (%)			0.000			20			63	
密度1.95に浮く粒子 (%)						15			24	
すりへり減量 (%)						10	100		2	
安定性 (%)		6.3	0.9		15.3	5	99		0	
					7.7	2.5	88			
						1.2	71			
						0.6	51			
						0.3	28			
						0.15	7			
粗粒率							2.56	6.81		

粒度曲線



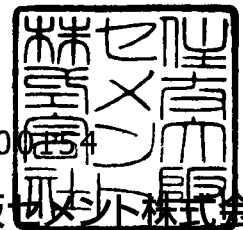
備考:



郡家コンクリート工業(株)

セメント試験成績表

№ 0800254



2025 年 7 月度



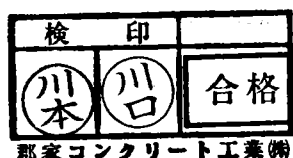
住友大阪セメント株式会社

品 質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試 験 成 績			JIS 規格値	試 験 成 績			JIS 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度 g/cm ³		-	3.15 ✓	-	-	-	3.13	-	-	-	3.04	-	-
比 表 面 積 cm ² /g		2500以上 ✓	3280 ✓	75	-	3300以上	4610	76	-	3000以上	4010	66	-
凝 結	水 量 %	-	27.6	-	-	-	29.4	-	-	-	29.8	-	-
	始 発 h-min	60min以上 ✓	2-06 ✓	-	(2-00)	45min以上	1-43	-	(1-15)	60min以上	2-49	-	(2-35)
	終 結 h-min	10h以下 ✓	3-27 ✓	-	4-05	10h以下	2-33	-	3-20	10h以下	4-23	-	5-35
安 定 性		良 ✓	良 ✓	-	-	良	良	-	-	良	良	-	-
圧 縮 強 さ N/mm ²	1d	-	-	-	-	10.0以上	27.3	1.21	-	-	-	-	-
	3d	12.5以上 ✓	31.1 ✓	1.34	-	20.0以上	48.8	1.49	-	10.0以上	21.8	1.31	-
	7d	22.5以上 ✓	46.8 ✓	1.78	-	32.5以上	59.7	1.73	-	17.5以上	35.0	1.62	-
	28d	42.5以上 ✓	62.2 ✓	1.95	-	47.5以上	70.4	1.97	-	42.5以上	60.4	1.81	-
水 和 熱 J/g	7d	-	339 ✓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28d	-	389 ✓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0以下 ✓	0.99 ✓	-	1.62	5.0以下	0.85	-	1.60	6.0以下	3.28	-	3.70
	三 酸 化 硫 黄	3.5以下 ✓	2.04 ✓	-	2.26	3.5以下	2.89	-	3.30	4.0以下	1.79	-	2.17
	強 熱 減 量	5.0以下 ✓	2.59 ✓	-	2.91	5.0以下	1.55	-	1.60	5.0以下	1.84	-	2.12
	全 ア ル カ リ	0.75以下 ✓	0.49 ✓	-	0.57 ✓	0.75以下	0.42	-	0.54	-	-	-	-
	塩 化 物 イ オ ン	0.035以下 ✓	0.019 ✓	-	0.025	0.02以下	0.008	-	0.014	-	0.017	-	-
備考：													
高炉セメントB種						全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大値							
1. ベースセメントの全アルカリ (%) : 0.49						普通ポルトランドセメント (%) : 0.60 ✓							
2. 高 炉 ス ラ グ の 分 量 (%) : 40~45						早強ポルトランドセメント (%) : 0.55							

- 試験方法は、JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203 及び JIS R 5204 による。なお JIS R 5202 は本体法による。
- 安定性の試験成績は、パット法による。
- 28d の圧縮強さ及び水和熱は、前月度の値を示す。

お問い合わせその他ご連絡先：

住友大阪セメント株式会社
広島支店



郡家コンクリート工業㈱

〒732-0827 広島市南区稲荷町4番1号
(広島稲荷町NKビル7階)
TEL (082) 577-7641 (代)
岡山営業所 TEL (086) 225-5785

郡家コンクリート工業(株) 私都工場 御中

2025年 7月度～2025年12月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 高性能減水剤 (I種) ✓
 商品名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%) ✓

1. コンクリートの試験結果

	項 目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	12 以上	15 ✓	15 ✓
	ブリーディング量の比 %	— 以下	—	—
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	— 以下	—	—
	凝結時間の差 分	始 発	+90 以下	-30 ✓
		終 結	+90 以下	-35 ✓
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—
		空気量 %	— 以内	—
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—
		材齢7日	115 以上	133 ✓
		材齢28日	110 以上	119 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	— 以上	— ✓	— ✓

注記1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 7.00 kg/m^3 性能確認試験 7.00 kg/m^3

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホゾリスソリューションズ ㈱技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl^-)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl^-)量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.00 % ✓	7.00 kg/m^3	0.00 kg/m^3 ✓
全 アル カ リ 量	0.30 kg/m^3 以下	0.03 kg/m^3	0.4 % ✓	7.00 kg/m^3	0.03 kg/m^3 ✓

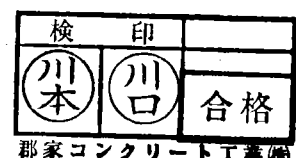
注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホゾリスソリューションズ ㈱技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm^3 , 20℃)	1.01 ~ 1.07	1.03 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。



試験品内容：[種類] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディミストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)

[大さき] 20~5mm
[採取日] 2024年11月29日
[産地] 岡山県津山市加茂町知和
[採取場所] ストックヤード
[製造業者] (株)ふじもと組

試験項目：1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日 (試料持込日)：2024年 12月 12日

試験日：2024年 12月 12日 ~ 2025年 6月 28日 ✓

試験結果：次頁以降の通り

特記事項：-

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルデクノ試験所 試験室
(注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 27日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号

一般財団法人 日本品質保証機構

関西マテリアルデクノ試験所

所 長

井上 邦良

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。

尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1) 試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

・粒度調整した代表試料の粒度分布：粒度区分A

・湿度95%以上を確保した手段：吸気紙による被覆及び容器底面の水張り

(2) 使用したセメント

・種別：普通ポルトランドセメント

・販売会社名：一般社団法人 セメント協会

・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %

・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %

・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %

・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量：1.2 %

(3) 判定基準

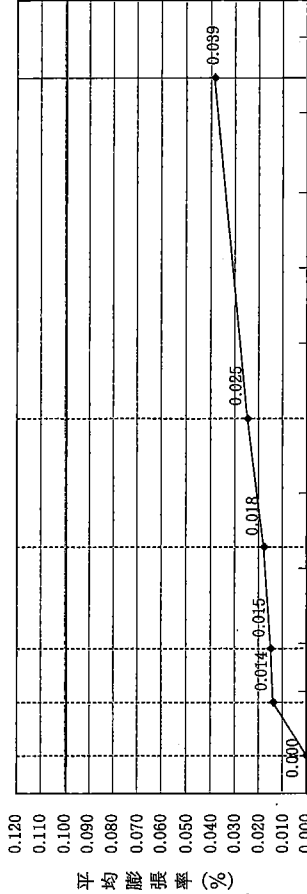
骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考]

なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならぬ。

(4) 試験結果

測定材齢		脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
試験No.								
膨張率(%)	1	—	0.015	0.015	0.018	0.025	0.040	無害 合
	2	—	0.014	0.016	0.019	0.026	0.039	
	3	—	0.013	0.014	0.017	0.023	0.038	
	平均	0.000	0.014	0.015	0.018	0.025	0.039	
外観観察		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	



以上

一般財団法人 日本品質保証機構



試験 報告 書

受領日 2025年 5月 27日
No. 6003-25000123

試験品内容: [種 別] JIS A 5308:2024 附属表JA「V型」シスコンクリート用骨材

[採取 日] 2025年5月26日
[採取 地] 鳥取市湖山町地内
[採取 場所] 鳥取市湖山町地内
[製造 業者] (有)相互商事
鳥取市湖山町北3丁目468

試験 項目: 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法) ✓

受領日 (試料持込日): 2025年 5月 27日

試験 日: 2025年 5月 27日 ~ 2025年 6月 5日

試験 結果: 次頁以降のとおり

特 記 事 項: -

試験実施場所: 一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室
(注) 1. 上記試験品は、試験中に発生した不具合等によるものであり、保証書に記載されたものではありません。
2. 試験品は、試験中に発生した不具合等によるものであり、保証書に記載されたものではありません。
3. 試験結果は当該試験品に對しての結果であり、製造するすべての製品に適用されるものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 20日



部室 コンクリート工業務

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長

井 上

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の記載、一部分の増量をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1) 試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2) 判定基準
- a) 溶解シリカ量(S₀)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(R_c)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(S₀)が3アルカリ濃度減少量(R_c)未満となる場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(S₀)がアルカリ濃度減少量(R_c)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。
- b) 溶解シリカ量(S₀)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(R_c)が700mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。
- c) アルカリ濃度減少量(R_c)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

(3) 試験結果

繰り返し	試料量 (g)	反応時間 (hr)	アルカリ濃度減少量 (Rc) (mmol/L)				溶解シリカ量 (Sc) (mmol/L)				判定
			V ₁ (mL)	V ₂ (mL)	Rc	平均値	「吸光度法」		平均値		
							吸光度	A (mg/L)		Sc	
1	25.00	24.0	20	18.40	65	66	0.160	2.72	19	無害	
2	25.00	24.0	20	18.35	68		0.162	2.75	20		
3	25.00	24.0	20	18.40	65		0.160	2.72	19		
ブランク V ₃ (mL) = 19.70						希釈倍率 n = 10					

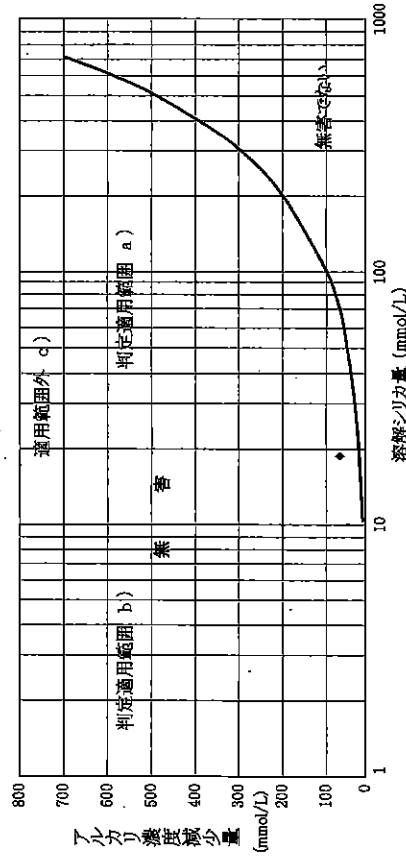
$$R_c = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V_1} (V_3 - V_2) \times 1000 \quad S_0 = 20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$$

R_c: アルカリ濃度減少量

F: 0.05mol/L塩酸標準液のフacktー=1.003

V₁: 希釈試料溶液からの分取量V₂: 希釈試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量V₃: 希釈した空試験溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

(参考)

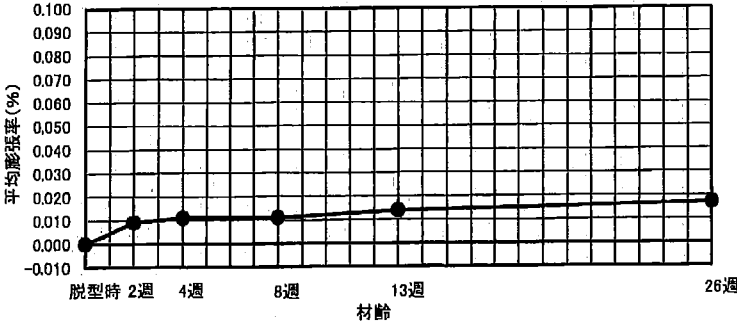
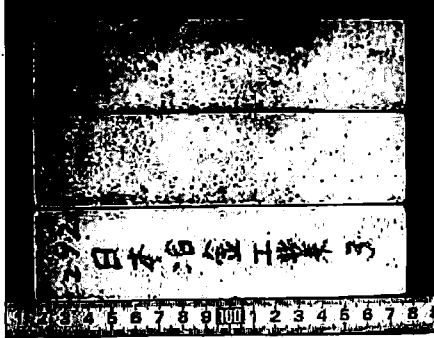




試験番号 VE-24-0292追2
受付日 2024年 8月22日
報告日 2025年 4月 2日

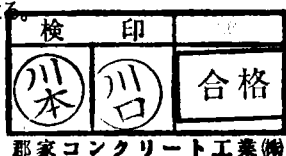
骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市西目8番1号
一般財団法人 日本建築総合試験所
試験研究センター
センター長
報告書発行責任者
材料試験室長
西山 篤史

依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	所在地	京都府宮津市字須津413					
	試験実施期間	2024年9月25日 ~ 2025年3月26日					
試験材料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド) ✓					 VE-24-0292
	産地*	京都府宮津市字須津413 ✓					
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	採取日*	2024年8月20日					
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼					
	工事名*						
	備考	2024年8月22日に当センターへ搬入された。					
	セメントの全アルカリ	酸化カリウム(K ₂ O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na ₂ O): 0.27%、全アルカリ(Na ₂ Oeq): 0.52%					
	試験方法	「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。					
試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定 無 害 ✓
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.009	0.011	0.012	0.015	0.018	
	2	0.010	0.011	0.011	0.013	0.016	
	3	0.009	0.011	0.011	0.014	0.016	
	平均膨張率	0.009	0.011	0.011	0.014	0.017	
平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。							
 図-1 平均膨張率と材齢の関係							
 写真-1 供試体の状況(試験終了時)							
担 当	材料部 材料試験室	試験責任者	澁井 雄斗		試験担当者	大本 裕樹	

*:試験依頼者の情報による。

以上



コンクリート中の塩化物量											検 印 欄				
合否基準値 0.30 kg/m ³ 以下											Q C M	試験係			
対象期間 令和 6年 8月 1日 ~ 令和 7年 7月 1日											川本	川口			
No.	日 付	測 定 値				平 均	合 否	No.	日 付	測 定 値				平 均	合 否
1	8/ 1	0.029	0.031	0.033	0.031	合									
2	9/ 2	0.029	0.028	0.031	0.029	合									
3	10/ 1	0.034	0.036	0.035	0.035	合									
4	11/ 1	0.032	0.032	0.036	0.033	合									
5	12/ 2	0.031	0.034	0.032	0.032	合									
6	1/ 7	0.035	0.032	0.031	0.033	合									
7	2/ 1	0.034	0.030	0.029	0.031	合									
8	3/ 1	0.036	0.031	0.034	0.034	合									
9	4/ 1	0.035	0.033	0.032	0.033	合									
10	5/ 1	0.032	0.029	0.034	0.032	合									
11	6/ 2	0.038	0.038	0.040	0.039	合									
12	7/ 1	0.042	0.046	0.043	0.044	合									
データ数 n = 12 標準偏差 s = 0.004 $\bar{x}$ = 0.034															

摘要欄	
-----	--